

経営比較分析表（令和6年度決算）

高知県高知県・高知市病院企業団 高知医療センター

法適用区分	事業名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	40	対象	透 I 未訓練	救急が感へ災地輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	75,965	非該当	非該当	7 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線) 診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…べき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
548	-	20
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
44	8	620
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
456	-	456

グラフ凡例
■ 当該病院値(当該値)
— 類似病院平均値(平均値)
□ 令和6年度全国平均



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

機能分化・連携強化(医療の質保証・ネットワークを重視)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I. 地域において担っている役割		
当院は、県立中央病院と市立市民病院を統合し、総合的かつ高度な診療機能を有する新たな基幹病院として設立されており、高度急性期医療を県民に提供する役割を担っている。		
また、自治体病院として、3次救急医療、周産期母子医療、がん医療やべき地医療など、政策医療あるいは不採算医療の提供も担っている。		
II. 分析欄		
1. 経営の健全性・効率性について		
① 物価上昇・人件費上昇に伴う医業費用の大額な増加等の影響により悪化した。		
② 医業収支比率は前年度より悪化した。		
④ 令和2年度の新型コロナウイルスの影響による大幅減少からの回復傾向が続いている。前年度比ではわずかに上昇した。		
⑤ 入院収益は増加傾向が続いている。一人当たりの入院収益も引き続き上昇傾向。		
⑥ 薬価改定の影響もあり外来収益は前年度比では減少。		
⑦ 人事委員会勧告によるベースアップなどの影響を受け、前年度より悪化した。		
⑧ 物価上昇による単価の値上がりを受け、悪化している。		
⑨ 令和6年度は経常収支が赤字となったことにより前年度より悪化した。		
2. 老朽化の状況について		
① 開院から20年が経過し、施設の老朽化が進行している。経営状況を勘定しつつ、施設の長寿命化計画に沿った計画的な維持修繕に努める。		
② 器械備品についても徐々に老朽化が進んでいるため、計画的な更新に努める。		
全体総括		
医業収益は増加したものの、新型コロナ感染症に係る補助金額が終了したことにより医業外収益が減少したことや、物価高騰により医業費用が増加したことなどにより、経常収支は赤字となつた。		